

平成20年5月14日

各位

会社名 株式会社 新生銀行
 代表者名 代表執行役社長 ティエリー ポルテ
 (コード番号 : 8303 東証第一部)

平成20年3月期 連結決算について

平成20年3月期(12ヶ月)の連結当期純利益は、601億円(前期は、連結純損失609億円)となりました。キャッシュベース連結当期純利益*は、713億円(前期353億円)となりました。

当行社長のポルテは以下のとおりコメントしています。「当行は収益性を回復しましたが、平成20年3月期は、米国住宅ローン問題による影響が大きく、当行もマイナスの影響を受け、厳しい1年でした。平成20年3月期の業績に満足はしていませんが、当行としては、財務体質の改善と事業の拡大に注力し、長期的成長へ向けた最適な選択を既に実行していると確信しております。」

平成20年3月期連結決算の要点、概要は以下のとおりです。

(特段の注記がない限り、以下内容は連結ベースで記載しております)

1. 平成20年3月期連結業績の要点

(単位:億円、%)

	平成20年3月期 (12ヶ月)	平成19年3月期 (12ヶ月)	増減率
業務粗利益	2,627	2,683	2.1%
経費	1,578	1,499	+5.2%
経費率	60.1%	55.9%	-
実質業務純益	1,049	1,183	11.4%
当期純利益	601	609	+198.6%
キャッシュベース当期純利益*	713	353	+102.0%
潜在株式調整後1株当たり当期純利益(円)	32.44	31.79	+202.0%
同キャッシュベース(円)	38.50	18.41	+109.1%
ROA	0.5%	0.6%	-
ROE(潜在株式調整後)	8.8%	8.1%	-
	平成20年3月末	平成19年3月末	増減率
総資産	115,257	108,376	+6.3%
潜在株式調整後1株当たり純資産(円)	364.35	355.09	+2.6%
自己資本比率(パーゼルII、F-IRB)	11.74%	13.13%	-
Tier I 比率	7.37%	8.11%	-
金融再生法上開示不良債権比率(単体)	0.95%	0.53%	-

* 当期純利益からのれんに係る償却額及び無形資産償却とそれに伴う繰延税金負債取崩を除いたもの

2. 財務の状況 ~ 堅固な資本基盤と持続的成長 ~

平成 20 年 3 月末の当行の**総資産**は、主に貸出と有価証券の増加に伴い平成 19 年 3 月末(10 兆 8,376 億円)比増加し、11 兆 5,257 億円となりました。貸出残高は、主に住宅ローンやスペシャルティファイナンスローンの残高増加とシンキ株式会社(以下「シンキ」)の連結子会社化により平成 20 年 3 月末には 5 兆 6,222 億円となり、平成 19 年 3 月末(5 兆 1,463 億円)比増加いたしました。また、有価証券は主にノンリコース債券を含む国内の社債の増加により平成 20 年 3 月末には 1 兆 9,802 億円となり、平成 19 年 3 月末(1 兆 8,546 億円)比増加いたしました。

預金(譲渡性預金を含む)残高は、平成 19 年 3 月末比 3,857 億円(7.1%)増加し 5 兆 8,066 億円となりました。当行ではリテールや法人のお客さまからの預金などを中心に、資金調達源の多様化を進めてきており、リテールバンキングのお客さま並びに法人のお客さまからの預金残高は、平成 20 年 3 月末時点で、それぞれ 3 兆 9,937 億円、1 兆 8,128 億円となりました。

当行の資本基盤は引き続き堅固で、平成 20 年 3 月末現在、パーゼル 基準での**連結自己資本比率(国内基準)**は 11.74%、**Tier 比率**は 7.37%となっております。

3. 損益の状況 ~ 堅調な業務粗利益と経費管理 ~

当期の**業務粗利益**は、米国住宅ローン市場関連エクスポージャーの評価減や、特定取引利益の減少等により非資金利益が低下したことから、前期比 2.1%減の 2,627 億円となりました。当期の**経費**は、主にシンキにおける下期 6ヶ月分の経費が合算されたことや、インスティテューショナルバンキングでの業務拡充を支えるべく要員の増強を図ったことから、前期比 5.2%増の 1,578 億円となり、**経費率**は前期の 55.9%に対し、60.1%となりました。

当期における**クレジット・コスト**は、主に米国住宅ローン市場関連エクスポージャーに係る貸倒引当金の増加により前期比 216 億円(41.7%)増加し 735 億円となりました。買収したコンシューマーアンドコマースシャルファイナンス子会社に関わる**のれん・無形資産の償却額**は、主に平成 19 年 3 月末に実施したのれん・無形資産の減損処理に伴い、前期が 208 億円だったのに対し、当期は 125 億円となりました。

当期の**その他利益**は、主に本店ビルやライフ住宅ローン株式会社(以下「ライフ住宅ローン」)の売却益が計上されたことにより、737 億円となりました(前期は、その他損失 1,113 億円)。**法人税等**の増加は、これらの売却益による影響が含まれております。**少数株主利益**は前期(166 億円)比 14 億円増加し 180 億円となりました。

その結果、**連結当期純利益**は、601 億円(前期は、連結当期純損失 609 億円)となりました。また、キャッシュベース連結当期純利益は、713 億円(前期 353 億円)となりました。

4. 各業務分野(ビジネスライン)別損益状況

インスティテューショナルバンキング ~ 堅実な貸出需要と米国住宅ローン問題による影響 ~

インスティテューショナルバンキング業務におきましては、貸出の需要や法人預金が堅調に推移しました。企業向け一般貸出残高は前期に比べ増加しましたが、貸出金全体の増加は主にスペシャルティファイナンスローンの残高増加によるものです。

当期の業務粗利益は、主に米国住宅ローン市場関連エクスポージャーの評価減や、前期には株式売却益が含まれていたことにより、前期比減少し 912 億円(前期 1,173 億円)となりました。実質業務純益は、上記の理由に加え、主にビジネスの拡大に向けた要員増加により経費が増加したことから、415 億円(前期 738 億円)となりました。クレジット・コスト加算後実質業務純益は、主に米国住宅ローン市場関連エクスポージャーに係る貸倒引当金の計上により、前期(778 億円)比減少し、219 億円となりました。

コンシューマーアンドコマースシャルファイナンス ~ 質の高い顧客層への注力と収益性の回復 ~

コンシューマーアンドコマースシャルファイナンスにおける貸出残高は、ライフ住宅ローンの売却はありましたが、シンキが連結子会社となったことによる貸出金の増加により相殺され、平成 20 年 3 月末には 4,262 億円と平成 19 年 3 月末の 4,249 億円と比べてほぼ横ばいとなりました。

コンシューマーアンドコマースシャルファイナンス業務における、当期の業務粗利益は、連結会計上 10 月 1 日より子会社となったシンキの収益が含まれたことなどから、1,273 億円と、前期(1,122 億円)比増加いたしました。また、実質業務純益も主にアプラスの経費削減により、前期(440 億円)比増加し、610 億円となりました。当期のクレジット・コスト加算後実質業務純益は、87 億円(前期は、クレジット・コスト加算後実質業務純損失 98 億円)となりました。これは主にシンキが下期黒字化したことに加え、アプラスが収益性を回復したことによるものです。

リテールバンキング ~ 顧客基盤の拡大・収益構造の多様化とオプション収入の減少による影響 ~

主に住宅ローンで構成される、リテールバンキング業務における貸出は、同ローンの順調な増加により、平成 20 年 3 月末には 9,074 億円と、平成 19 年 3 月末(6,395 億円)比 41.9%増となりました。平成 20 年 3 月末時点における当行パワースmart住宅ローン顧客数は 37,000 名を超えております。投資信託や変額年金は前期(6,342 億円)比 14.8%増の 7,278 億円となり、また、預金や債券は前期(39,557 億円)比 9.6%増の 43,359 億円となりました。平成 20 年 4 月末現在、リテールバンキングの口座数は 220 万口座を超えております。

当期のリテールバンキング業務におきましては、仕組預金関連収益が 113 億円から 57 億円に減少したことにより、業務粗利益は 340 億円(前期 361 億円)となりました。業務粗利益が減少する一方で、店舗等の拡充による経費の増加やお客さまの増加による変動費の増加もあったことから、クレジット・コスト加算後実質業務純損失は 63 億円(前期は、クレジット・コスト加算後実質業務純損失 16 億円)となりました。

5. 平成 21 年 3 月期業績予想

平成 21 年 3 月期の連結当期純利益予想を 620 億円、単体当期純利益予想を 600 億円といたします。

当期決算に関する詳細については、以下当行 URL(「決算・財務情報」メニューの中の「四半期決算情報」)をご覧ください。

URL: http://www.shinseibank.com/investors/ir/financial_info/quarterly_results_2007/quarterly_results_2007.html

以 上